

## 雜 錄

### ○文部省保育講習會

文部省主催保育講習會は左の通り開催せらるゝ、  
ことになりました。

期日 八月一日より同十日迄  
會場 東京女子高等師範學校  
學科及講師

一、幼兒の傳染病豫防に就て(四時間)

東京帝國大學醫科  
大學教授醫學博士

弘 田 長

二、保育の手段(十時間)

東京女子高等  
師範學校講師

倉 橋 惣 三

(一) 保育手段の意義

(二) 普通に行はるゝ保育の手段

(イ) 音 樂

(ロ) 動作遊戲

(ハ) 談 話

(ニ) 圖 畫

(ホ) 手 技

(一) 實際生活

三、幼兒に興味ある動物の生活(十一時間)

學習院助教授 太 田 順 治

(一) 飼育觀察に便なる魚類其の他の小動物  
に就て

(二) 幼兒の注意を惹き易き昆蟲に就て

(イ) 目に觸れ易きもの

(ロ) 發音機を有するもの

(ハ) 其の他

四、遊戲(理論及實習) (九時間)

東京府東京市  
麹町尋常小學校長

土 川 五 郎

(一) 幼稚園遊戲

(二) 遊戲の基本的練習

(三) 遊戲實習(十數種)

一、北海道廳及各府縣講習員の定員は三人とす

一、講習員は地方長官之れを選定す

一、地方長官は講習員を選定したるときは本人の  
氏名、職名、講習を受くべき學科目を記載し

たる選定書を七月二十日まで文部省普通學

務局に差出し講習員を開會前日までに講習會場に出頭せしむべし

一、講習員の資格は幼稚園長及保母に限る

一、地方長官は定員以外に豫備員を選定することを得

一、文部省に於て前項豫備員を許可したるときは其旨地方長官に通知す

一、講習を終りたるときは講習員の出席を査定して證明書を授與す

## 東尻池幼稚園保育狀況

(神戸市東尻池町二ノ五三所在)

### 保育の要旨

學齡未滿の幼兒の家庭教育を完全ならしめんが爲に専ら幼兒身體の均等なる發育を圖り、純和なる感情を養ひ感覺器の練習を適當にし、意志を練り以て後來心身發達の基礎を涵養するを以て本旨とす。

### 保育の主義

保母中心主義を排し、幼兒中心主義に據り幼兒開發を主とし、尙幼兒天來の模倣性を適當に利用し以て自然的開誘に注意す。

### 編制

幼兒の總數二百七十三人之を六組に編制す。

### 保育の方法

一、整容 毎朝會集前約十五分保育室に於て心身を靜止せしめ、服裝を正し容儀を整へしむ(鼻汁を洗ひ顔面手先を洗はしむる等)

二、會集 整容後直ちに全園幼兒を一室に集め、園長又は主事之が開誘に當り、先づ所定の唱歌を合唱し、次に瞑目雜念を拂ひ、放心を一點に集注せしめ、常に不屈の精神を修養し、終りに卑近なる童話お伽噺偶發事項指示等をなし、又は唱歌をうたひ知らず識らずの間に純美なる感情の發育を計る。

三、遊嬉 身體諸部の發育を助長し、心情を快潤にするに勉め、常に自由遊嬉を以て、個人性の發達を計り、共同遊嬉は毎週凡二回之を課し、協同

和親の情と規律的良習慣とを涵養す。

四、郊外保育 本園保有の主義を貫徹せしめんが爲めに、郊外保育を最も重要視し、天候の許す限り郊外田野又は海岸附近に連れ行き、新鮮なる空氣と日光とに浴せしめ筋肉呼吸器等、總て身體各部の發育を助け、自然界に接觸せしめ、手技唱歌談話遊嬉等と適當なる連絡を保ち、以て天賦の本性を發揮せしむ、今其の實際の狀況を二三左に擧げん。

イ、本園西數町新湊川原あり、水少く清砂多く兩堤芝生廣く、保育上最適地なれば幼兒を之に引牽し、時に砂山を築き、川を作らし、草花を採り來りて、之に植ゑしむるなど嬉遊の中に適當なる運動と意志の修練に資す。

ロ、同所に於て共同遊嬉を課し、轟々と汽車鐵橋を通過するや之を觀察せしめ、且汽車の唱歌を唱はしむる等無上の樂天地に於て可憐なる幼兒の保育を行ふ。

ハ、種々の草花を採り來りて觀察せしめ、直ち

に之を飯事遊に應用し、草葉を卷きて餅を作り豫て準備せる玩具の盆茶碗等を以て主人となり客人となり、作法を修練す。

ニ、歸園に際し土産として花を持ち歸らしめ、實物を臺紙に貼らしめ、切實の蝶或は植木鉢等を添加し以て手技に應用す。

ホ、本園南數町にして兵庫運河あり之より吉田新田海岸に至る、附近白砂青松眺望絶佳海を隔て、模糊たる紀淡の山嶺を望み、海上浪穩にして大船小舟の往來繁く又以て保育場として最適の地とす、之に幼兒を引牽して此の自然の風物に接觸せしめ、審美的感情を養ひ、帆船を見ては船の唱歌を唱ひ、軍艦を視ては海戰の歌を唱はしめ又は貝を拾ひ石を集めて小山を作り、或は飯事をなさしめ之を持ち歸りては手技に應用する等種々の方案を以て幼兒を開誘し、兼て觀察力を喚起せしむ。

五、談話 心性を涵養し、徳性啓發の資たらしめ

觀察及び作法言語を練習せしむ、材料は主に自己家庭、社會國家自然より採りたる話並に園兒との約束園訓等を以て談話す。

六、唱歌 卑近なる單調唱歌を選び、忠孝を主とし其の他自覺し得べき歌曲を誦はしめ、徳性を養ひ聴覺發聲及び呼吸機關の發育を資助す。

七、手技 可成自然物を利用し工具、草木の葉を以て種々なる細工をなし、其の他組紙、折紙、積木豆細工、麥稈細工等を課し、宇宙萬有合理の淵源を感得せしめ、一般手及び眼を練習して工夫想像の力と美的心性を養ふ。

八、食事 晝食時に於ては食後面白き談話等をなし作法を會得せしむると同時に、家庭的團樂の趣味を養ふ。

九、敬神 毎月二日氏神長田神社、同二十五日菅公舊跡勾の梅及び八幡宮に參拜し、氏神と氏子地との關係恰も木の根幹と枝葉とに於けるが如く、如何に大切なるかを知らしめ、此等敬神の精神を

普く知らしめ忠孝一體祭政一致の事を知らしむ。

十、保育案 保育細目に據り、保育案を作り之に依りて系統ある保育をなし、且之が實際を記入し意見を附し次の立案の參考とす。

十一、園歌 左記の園歌を制定し常に之を唱ひ、以て當園保育の精神を徹底せしむるに資す。

眞野の園生の幼兒を教へ育て、朝夕に

句の梅と諸共に高き香りを傳へなむ

十二、獎勵 毎月皆出席し、且善行なる者に賞狀と賞品とを授與し、學期の終即ち保育修了の時に於て、成績優良にして善行なる者には、更に賞狀と賞品を授けて之を表彰し勤勉の素地を養ふ。

十三、心身訓練 毎月一回若くは二回身體發育狀況を調査し、其の園兒に適する遊嬉運動をなさしめ、個性の存する所を觀察し圓滿なる發育を期す十四、家庭連絡 時々修了兒の狀況を視察し又は園兒の家庭を訪問し家庭と連絡をなし家庭教育を補ひ且同園會を開きて已修了園兒の世話をなす。

毎月一回十六日に保育會を開催、園児の母姉を集め、當園の保育狀況を知らしめ家庭教育上の適切な注意を與へ、實際の保育方法を會得せしめ、以て當園保育の主義を貫徹することに努力す。

十五、保姆養成 幼兒の保園は善良の保姆に依りて始めて其の完全を期するものなり、されば當園獨創の保育主義を實際に行ふに堪ゆるの良保姆を育成するの目的を以て之を附設し、講習生には書籍用具等は之を貸與し、更に數名の講師、教育學、教授法、兒童心理學、保育法等を教授せしめ、且毎日時間を選びて保育の實際を觀察せしめ或は之に當らしめ以て保育の方法を修得せしむ。

### 沿革の概要

當園は明治三十九年三月二十一日甫めて之が經營に着手し、同四十一年六月六日當町役員各位の賛成を得、東尻池兒童保育所として村役場跡に設置し、同月八日僅かに幼兒五名を收容して保育を開始せり、其の後漸次幼兒も増加し三十名に達する

に至りしを以て、同四十四年十一月十日組織を改め知事の認可を得て東尻池幼稚園と改稱す、同四十五年五月六日 教育勅語を下賜せられ大に面目を一新し、園運益々隆盛に赴き園児一百名以上を算し園舎狹隘を告げしかば、大正二年四月一日寶滿寺前に分場を設け幼兒三十名を收容す、同五年四月十三日獨立認可を得て役場跡を第一幼稚園と稱し、寺前分場を第二幼稚園と稱せり、同六年二月上旬創立十週年記念として園長私財を投じて寺前に新園舎を建築し、第一第二兩園の合併を行ひ東尻池幼稚園と稱せり、現在入園幼兒二百七十餘名の盛況を呈し、組數を分ちて六組とし、職員園長一名主事一名保姆八名世話係二名を以て之が保育の任にあたり、而して家庭と連絡の爲め毎月一回保育會を開き尙保育を完全ならしめんが爲め保姆養成所を附設し良姆を養成し、益々實績を擧ぐるに勉め大正六年六月六日十週年祝賀式を行ふ

(園長末正繁太郎氏報)